

高校野球 春季東北大会

第70回春季東北地区高校野球大会は7日、岩手県のきたぎんボールパークと花巻球場で開幕した。初日は1回戦6試合が行われ、青森県勢では第2代表の八学光星が仙台一(宮城③)に5

回コールド勝ち。第1代表の工大一が盛岡三(岩手③)に7回コールド負けを喫した。八学光星、盛岡三のほか、一関学院、日大山形、明桜、花巻東が8強入りした。
 第2日の8日は、八学光星一鶴岡東(山形①)＝きたぎんボールパーク、午後0時半開始予定＝など2球場で準々決勝4試合が行われる。(千葉達也)

1回戦

【八学光星】	打点	安打	盗塁	失球
山形	3	1	0	0
本城	1	1	0	0
盛岡	0	0	0	0
子爵	0	0	0	0
中長	0	0	0	0
青森	0	0	0	0
盛岡	0	0	0	0
花巻	0	0	0	0
大曲	0	0	0	0
三好	0	0	0	0
釜石	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0
青森	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

【仙台一】	打点	安打	盗塁	失球
小高	0	0	0	0
大曲	0	0	0	0
三好	0	0	0	0
釜石	0	0	0	0
秋田	0	0	0	0
青森	0	0	0	0
岩手	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

投手	回	打点	安打	失球
佐藤	4	6	3	0
佐藤	1	6	3	0
三好	3	2	0	2
瓶	2	1	0	4
安	2	0	1	0



八学光星 003 90 | 12
 仙台一 000 02 | 2
 (5回コールド)
 (八) 池田、佐藤一藤原
 (仙) 三瓶、千葉、安藤一小川
 ▷三塁打 西尾(八) ▷二塁打 長谷、池田、青木、山本、砂子田(八) 大棒(仙)
 ▷試合時間 1時間31分
 (球審＝三浦、塁審＝菅原、木村、新沼)

【評】八学光星は三回、長谷、池田の連続適時打で3点を先制。四回は西尾の2点適時三塁打など打者一巡の猛攻で一挙9得点を挙げ、試合を決めた。先発池田は4回7安打無失点と好投した。仙台一は五回に2点を返すにとどまった。

光星 初戦大勝

初先発池田、4回無失点



昨冬から本格的に投手の練習をはじめたばかりの八学光星の池田優斗が投打に躍動した。公式戦初先発を大舞台で果たすと、7安打をひながら4回無失点と好投。打っては1点リードの三回、適時三塁打2点を追加した。「バックのみんなに助けられた。狙ったボールを一球で仕留められて良かった」と胸を張った。

打っては全打席出塁

チームには洗平比呂ら左腕が多い中、「計算できる右投手が欲しい」(仲井崇基監督)との考えから、本来の野手の練習に加え、フルベン入りしてヒッチングを磨いてきた。「ちよつと目入ると打たれたり、自分の思う所にボールが行かなかったりと、意外と難しい」というが、この日は「一番自信がある直球にスライダーなどを織り交ぜ、要所を締めろ力投を披露。三回2死満塁のピンチの場面では、力のある直球で相手手首を空振り三振に切って取った」。

バッターボックスに立つと、「安打も四球も全打席で出塁。」「自分の強みは出塁率の高さ」と誇った。
 8日は山形第一代表の鶴岡東戦。「強いイメージがあるが、今日の方が投手を擁護できるような攻撃がしたい」と意気込みだ。
 (千葉達也)

【八学光星―仙台一】4回無失点と好投した八学光星の先発池田優斗(花巻球場)